

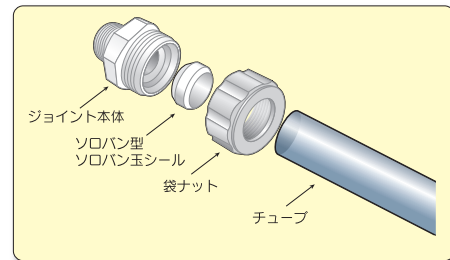
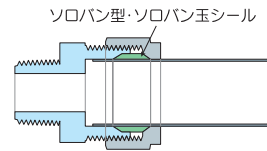
1 ソロバン型・ソロバン玉シール

■使用方法

- ①ご使用のチューブの先端を「袋ナット」→「ソロバン型・ソロバン玉シール」の穴に通してください。
 - ②チューブの先端がジョイント本体の一番奥に突き当たった箇所、袋ナットを締め込みチューブを固定します。
- ※ジョイント本体が貫通タイプの場合は、チューブを止めたい箇所まで固定し、袋ナットを締め込んでください。

■特徴

- 専用工具の必要がなく、袋ナットを締め込むだけで容易にシールができます。
- 圧力が高くなるとチューブが抜ける場合があります。ご注意ください。
- 樹脂製の硬質チューブをご使用ください。



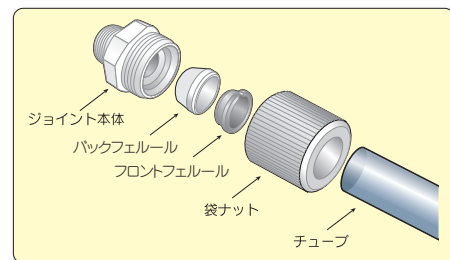
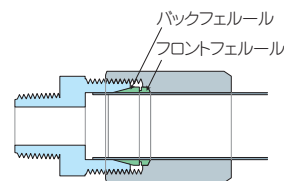
2 Wフィッティングシール

■使用方法

- ①ご使用のチューブの先端を「袋ナット」→「フロントフェルール」→「バックフェルール」の穴に通してください。
- ②チューブの先端がジョイント本体の一番奥に突き当たった箇所、袋ナットを締め込みチューブを固定します。

■特徴

- 専用工具の必要がなく、袋ナットを締め込むだけで容易にシールができます。
- ソロバン型・玉シールよりも耐圧値は高いですが、圧力が高くなるとチューブが抜ける場合があります。ご注意ください。
- 樹脂製の硬質チューブをご使用ください。



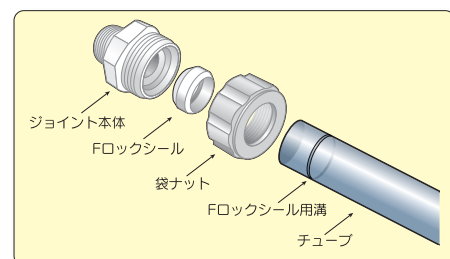
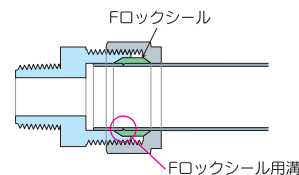
3 Fロックシール

■使用方法

- ①ご使用のチューブに溝切りをする必要があります。
(推奨工具：NR1404)
専用工具がない場合はカッターナイフなどで、チューブに薄く溝を作れば使用できます。
 - ②チューブの先端を「袋ナット」→「Fロックシール」へ挿入します。(Fロックシールの内側突起が、チューブの奥側になるように装着してください。) 差し込むとき少しきつく感じますが、グッと押し込んでください。
 - ③チューブの先端がジョイント本体の一番奥に突き当たった箇所、袋ナットを締め込みチューブを固定します。
- ※ジョイント本体が貫通タイプの場合は、チューブを止めたい箇所まで固定し、袋ナットを締め込んでください。



MOVIE



■特徴

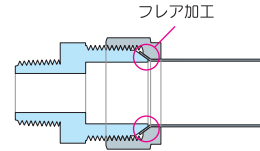
- ソロバン型・ソロバン玉シール、Wフィッティングシールよりも抜けにくく、高い圧力にも耐えられます。
- チューブの溝切り作業が必要となります。
- 樹脂製の硬質チューブをご使用ください。

バルブ・継手シール	作業性			耐圧性			
	容易	←	→	低い	←	→	高い
1 ソロバン型・ソロバン玉シール	○			○			
2 Wフィッティングシール	○				○		
3 Fロックシール			○		○		
4 高圧式シール							○
5 スリーシール	○				○		
6 フレキ用シール	○				○		

4 高圧式シール

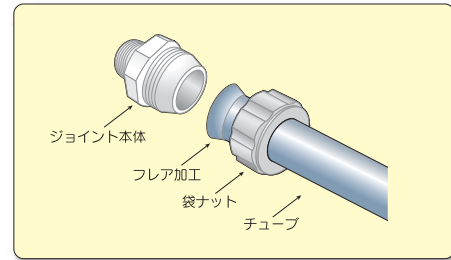
■使用方法

- ①ご使用のチューブの先端を「袋ナット」に挿入してください。
- ②チューブの先端をフレア形状にする必要があります。
(推奨工具：NR0339)
- ③フレア形状に加工したチューブと本体を接合し、袋ナットを締め込んでください。



■特徴

- Fロックシールよりも抜けにくく、高い圧力にも耐えられます。
シール構造の中でも一番の耐圧性があります(当社比)
- チューブ先端をフレア形状にする必要があります。
- 樹脂製の硬質チューブをご使用ください。



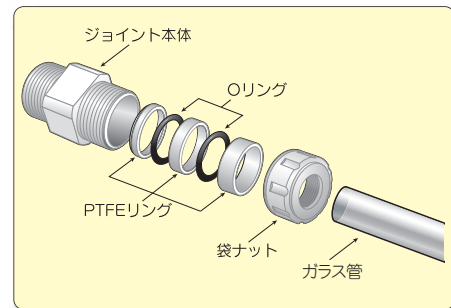
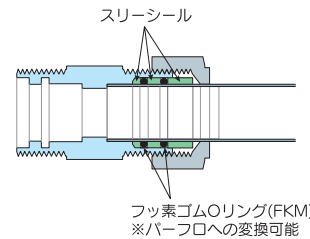
5 スリーシール

■使用方法

- ①ご使用のチューブの先端を「袋ナット」の穴に通してください。
- ②チューブの先端がジョイント本体の一番奥に突き当たった箇所、袋ナットを締め込みチューブを固定します。

■特徴

- 専用工具の必要がなく、袋ナットを締め込むだけで容易にシールができます。
- 樹脂チューブ以外の硬質チューブ(ガラス管やステンレス管等)の接合に威力を発揮します。
- ジョイント本体は、OリングとPTFEリングを組み合わせた独自の構造で、硬質樹脂以上の硬度を持つガラス管やステンレス管などにも確実にシールできます。
- ※Oリングは通常FKM製になりますが、パーフロへの変更もできます。
- 圧力が高くなるとチューブが抜ける場合があります。ご注意ください。
- その他のシール方式よりコストアップします。



6 フレキ用シール

■使用方法

- ①チューブの先端を「袋ナット」→「ソロバン型シール」の穴に通し、「特殊インサート(タケノコ型スリーブ)」をチューブの先端から内部に向けて差し込みます。
- ②袋ナットを本体ジョイントに締め込むだけで、シールができます。

■特徴

- 専用工具の必要がなく、袋ナットを締め込むだけで容易にシールができます。
- チューブの内側と外側よりシールする構造のため、比較的圧力に強い設計となっています。
- 通常はフレキシブルチューブ薄肉タイプに使用されますが、PTFE、PFA、FEPチューブ等の薄肉タイプ(肉厚0.5mm程度)で圧力をかけたいときや、Fロックシール用の溝が切れない場合等に代用が可能なシール構造になっています。
- ※別注品になりますが、お気軽にお問合せください。
- 他種のシール方式よりもコストアップします。

